

# 新潟選挙区での市民・野党共闘に向け貴重な前進 「戦争法NO！上越実行委員会」主催で県内初の5野党討論会



「戦争法NO！上越実行委員会」などの主催で13日、5野党討論集会が行われました。会場の文化会館中ホールには150人を超える人たちが集まりました。

討論の前

この野党がまとまらないと勝てないだけに当然といえば当然なのですが、こういう集会ではつきり示されたことは重要です。

そして最後のまとめの発言では、5党代表から「いろんな議論ができたのはすばらしい。ご安心ください。大丈夫です、まとまりますから」（維新の党の米山隆一さん）など共闘への熱い思いが語られ、率直で誠実な話し合いを行う意思が聴衆に示されました。参院選新潟選挙区における市民・野党共闘実現に向けて貴重な一歩を踏み出したといっています。

討論では維新の党の米山さんや生活の党の森ゆう子さんの話を初めて聞きました。率直さとわかりやすさに惹かれました。そして日本共産党上越地区委員長の上野公悦市議の発言についてもよかったですよという声が聞こえてきました。うれしかったですね。

## 藤野やすふみ衆院議員 上越市内3会場で国会報告

日本共産党の藤野やすふみ衆院議員は14



日、上越市を訪れ、吉川多目的集会場、頸城希望館、市民いこいの家の3会場で国会報告を行いました。

藤野議員は甘利前経済再生大臣の疑惑解明の重要性、原発再稼働は



【ハンノキの花】私の事務所の近くには大きなハンノキが2本あります。雪の降る日、なんとにはなしに見ていたらハンノキの色が変わっていることに気づきました。そばに行くと、メスの花が垂れさがっていました。

させてはならないこと、安保法制の危険性、TPPがもたらす重大な問題点などを国会論戦を紹介しながら浮き彫りにしました。

このなかで藤野議員は「政治と金」の問題で甘利前大臣の疑惑をいまいにするべく、解明に向け関係者の証人喚問をすべきだ訴えました。また原発再稼働については、原子力規制委員会の新基準では複数の原発で事故が発生した時のことが考慮されていないことなどを国会で何度も取り上げてきたことを紹介し、柏崎刈羽などの原発は再稼働させてはならないと強調しました。

藤野議員はまた、暴走を続ける安倍内閣の政治に待ったをかけるためには、TPPの問題ひとつとっても国会議員と地方議員が連携して頑張ることが大事だ、ぜひ上越市議会に4人の日本共産党議員団をと訴えました。

## 青空の下で “市民の暮らし守れ”

16日、私は市民の命と暮らしを守るために、税金の無駄遣いをやめ、市民生活最優先の市政をと市内各地で街頭から訴えました。

この日は青空が広がるすばらしい天気、何人もの方が家から出てきて、私の話を聞いてくださいました。

写真は大島区藤尾にて。

# はしづめ法一の活動レポート

No.1745 2016.2.21

発行編集 日本共産党前上越市議 橋爪のりかず

Tel 025-548-3628

通じないときは 090-5392-1961

E-mail hasiznyg@ruby.ocn.ne.jp

URL <http://www.hose1.jp/>



ブログ「ホーセの見  
てある記」は  
← こちら

橋爪法一

検索



# 春よ来い

## 第三九三回 バレンタイン

先入観が産んだエピソードをひとつ。バレンタインデーの数日前のことでした。長女からメールで、「茶の間のコタツの上にバレンタインのプレゼントを置いた」という知らせがありました。

長女からのプレゼントは紙袋の中に入れて、覗くと、ピンク色の飾りひもで結ばれた長方形の箱が入っています。箱は縦一〇センチ、横二〇センチほどの大きさでした。私はこのまま暖かい部屋に置いてはならないと考え、箱を取り出し、事務所の冷蔵庫にしまいました。

バレンタインデーの前日、何となくお腹が空いていて、チョコレートを食べたくなりました。まだバレンタインデーにならないのに食べるのはどうかと少し気が引けたのですが、そばにいた妻に「食べたなら」と言われ、冷蔵庫からプレゼントされた箱を取り出しました。

テーブルの上に箱を出し、結んである飾りひもを手でほどこうとしましたが、なかなかほどけません。それを見ていた妻がハサミを持ってきて、ひもを切ってくれました。包装紙をはがすと、中の箱は「ダークブラック」と言いたくなるような落ち着きのあつ黒い色でした。そして箱を開けた瞬間、私も妻も大笑いしてしまいました。

なんと、中身はチョコレートではなく財布だったのです。妻からは、「お父さんは食べることしか考えていないもんね。おねえちゃんはお父さんの財布がみすばらしいのわ。ちゃんと見ていたんだわ。よかつたね」と言われてしまいました。

そう言えば、長女から、「お父さんの財布の札はしわが寄っているんだね」と言われたことがあります。この財布は集金用です。なにせ百円で買ったものだから、小銭と札を区分するようにはできていません。長女には、この時の記憶が残っていたのだと思います。

フェイスブックという投稿サイトで早速、「冷蔵庫に入れたバレンタインプレゼントの中身は財布だった」と発信したところ、いくつもコメントを寄せてもらいました。

「冷え冷えの財布ですが、暖かいお話ですね」「私の財布は冷蔵庫に入れなくても一年中冷えてます」「素敵なバレンタインでしたね」など、うれしかったです。近年はチョコだけではなく、クッキーやかまぼこなどをプレゼントするケースが増えてきていますので、ひよつとしたら私と同じようなものももらい、冷蔵庫に入れるという失敗をした人もいるのではないかと「期待」したのですが、残念ながらもいませんでした。

後になって気づいたのですが、プレゼントが入った袋には長女からのメッセージも入っていました。カードくらいの大きさの紙には、「お金は大事にしてくれる人のところに来るそうです。札と小銭は別にするように」とありました。やはや、やはや。

プレゼントしてもらった財布の色は黒、札入れ、小銭入れが区分されていて、カードを入れることのできるポケットもいくつかついていました。しっかりした素敵な財布です。もったいなくて普段はとも使う気になれません。日頃、集金で使う財布は長女の気持ちもくんで、小銭用と札用の財布をふたつ持つことにしましたが、今回もらった財布は、スーツを着込んで外に出るような時だけ、使うことにしました。

今回の失敗で、バレンタインデーのプレゼントはチョコレートという先入観はなくなりました。プレゼントしてもらった財布は、いまはある場所にそつと保管しています。人前でこの財布を出すときに、思い出し笑いをしないように気をつけたいと……。

## 「新春の集い」は楽しい交流会に

14日の「はしづめ法一を囲む新春の集い」の第2部は、参加者の交流会です。

女性後援会員さんや協力者のみなさんによる手づくりの料理を食べながら、飲み、語り、学ぶ楽しい交流会となりました。

市内各地から参加されたみなさんから、歌、踊り、ハーモニカ演奏などが披露されました。

この日はバレンタインデーでした。私は女性後援会員さんたちから「し、しっかり物事を見て、はっきりものを言える橋爪



さん」など「はしづめのりかず」の文字に合わせたワンポイント激励メッセージをプレゼントしていただきました。もちろん、チョコも。



## 上越地域各消防署における空間放射線量測定結果

測定は毎日午前9時。数値はマイクロシーベルト。1時間当たりの測定量です。消防署によると、通常は1時間当たり0.016~0.16 μSv(マイクロシーベルト)だとのこと。

	2月10日(水)	2月17日(水)
上越南消防署	0.060	0.057
上越北消防署	0.053	0.080
新井消防署	0.050	0.050
頸北消防署	0.050	0.057
頸南消防署	0.063	0.060
東頸消防署	0.060	0.053
高士分遣所	0.053	0.070
名立分遣所	0.060	0.050

## 久しぶりに縄ない機と出会う

市内山間部で、ほぼ全自動の縄ない機と初めて出会いました。

すぐれたワラが自動的に丸い筒に飛び込んでいき、縄になっていく様子にびっくりでした。昔、わが家にあった機械よりもはるかに高性能でした。

